

うめきた公園

令和 7 年度 事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

一般社団法人 うめきたMMO

目 次

1. 令和7年度の事業概要	P 2
2. 成果指標にかかる目標数値の達成状況	P 5
3. 令和7年度 収支報告書	P 1 0
4. 社会的責任、市の施策との整合性に関する取組み状況	P 1 1
5. 目的事業にかかる事業報告書	P 1 2
6. 自主事業にかかる事業報告書	P 2 1
7. 設置許可施設の運営にかかる事業報告	P 2 9
8. 次年度へ向けた課題及び目標	P 3 4

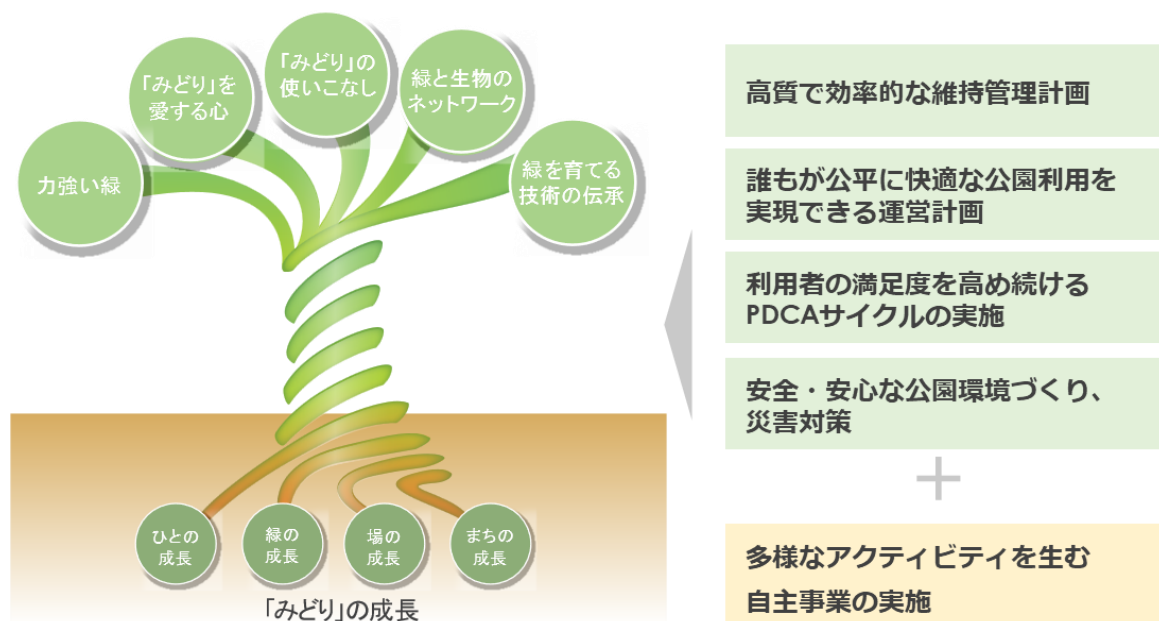
1. 令和7年度の事業概要

(1) 管理運営方針

■ 施設の管理運営方針

「みどり」の価値を継続的に向上する管理運営のエコシステム構築を目指す

「みどり」空間を適切に維持管理するだけでなく、日々の丁寧な利用者コミュニケーションや空間の柔軟な使いこなしを促す工夫を大切にした公園運営を行うことで、植物・生物の生育と同時に「使い手」や「場」も成長し続ける公園を目指す。



■ 施設の維持管理方針

「みどり」豊かで良好な公園環境を維持・育てる

うめきた公園における植物・施設・設備等の設置目的や機能、特性を理解した上で、「うめきた公園指定管理業務仕様書」の内容・水準を遵守するとともに、計画的な施設の維持管理（点検、修繕・補修・更新工事ほか）等の各業務を行う。また、下記の方針を掲げ、施設の機能と役割をコントロールし、うめきた公園のポテンシャルの最適化・最大化が図れるよう努める。

- ・ 安全性の確保：品質管理と安全管理を徹底し、利用者や従業員の安全を確保する
- ・ 景観・美観の維持：適切な植栽管理や施設の維持管理、定期的な清掃を通じて、魅力的な環境を保ち、快適で美しい場所を提供する
- ・ 環境配慮：施設の運営において、環境への負荷を最小限に抑えるため、エネルギー効率化/省エネルギーや廃棄物管理など、持続可能な方法を可能な限り採用する
- ・ 満足度向上：利用者の要望やニーズを把握し、利用者が安全・快適に活動ができるよう、施設の品質を維持・向上させるための取り組みを行う

- ・ 魅力度向上：公園コンセプトの実現につながる取り組みを持続的かつ柔軟に展開できるよう、うめきた公園独自の利用・運用ルールを策定し、公園の新たな使い方・楽しみ方を提供する
- ・ 計画の策定：施設のメンテナンス計画を適切に策定し、予防保全と定期点検を通じた適切な管理を行う
- ・ 緊急時対応：危機管理体制を整備し、緊急時の迅速な対応を行う
- ・ 効率化：維持管理に用いるツールの DX 化を推進し、効率的な維持管理を行う

■ イベントなどの基本方針

うめきた公園では、サウスパークの「ロートハートスクエアうめきた（大屋根イベントスペース）」（設置許可施設）や「芝生広場」（一般園地）等を中心に、四季折々の非日常体験を味わえる、シーズナルなイベントの誘致・開催を想定している。

また、イベントの実施・誘致にあたっては、MMO が定めた下記のイベント基本方針に合致するよう、コンテンツの企画・誘致等に取り組んでいく。

＜私たちが目指すまちの世界観＞

あなたと、世界に、いいことが生まれ続ける場所へ

＜イベントを通して来街者へ提供していきたい価値＞

人生の 1 ページに刻まれる感動体験を。

＜価値を伝えるためにイベントで大切にしたい 12 の要素＞

WILL、STYLISH、GREEN、SOCIAL GOOD、DIVERSITY、SUSTAINABLE、
UNIQUE、WORLD STANDARD、WELL-BEING、INNOVATIVE、CONNECT、
JAPAN VALUE

（２） 指定管理事業の全体総括・自己評価

■ 目的事業

公園の管理運営方針に基づき、「みどり」の価値向上と安全快適な環境提供を目指し、年間計画に基づく丁寧な植栽管理と芝生広場の高品質な維持育成に注力した。その結果、来園者アンケートでは「公園の豊かなみどりや芝生広場の存在」が高く評価され、満足度 97.4%を達成した。

施設維持管理においては、日常巡回と清掃を徹底し、常に清潔で快適な公園環境を提供。

「園内が綺麗に清掃されている」と高い評価を得た。安全管理・危機管理体制も強化し、関係機関との連携、マニュアル整備、定期的な訓練を実施。また、AI カメラを活用した公園利用ルール違反となる行為の検知導入により、管理業務の効率化・充実化と、利用者の安全・安心を確保する基盤を確立した。

■ 自主事業

「多様なアクティビティを生む自主事業の実施」を目標に掲げ、年間を通じて継続的な来園機会を提供する参加型プログラムや、公園の四季の魅力向上を企図したシーズナルイベントを実施し、公園の魅力向上に取り組んだ。

さらに、グラングリーン大阪開発事業者や企業・団体との連携を深め、多様な共創イベントを誘致し、公園の国際競争力強化と魅力向上に大きく貢献した。市民活動支援としては、「MIDORI CLUB」のトライアルとして市民発意の企画を複数実施。公園施設や地域の事業者と連携し、公園施設プログラムやウェルネスプログラムを展開するなど、地域コミュニティ形成と多様な主体による活動サポートにも寄与した。

また、公園利用促進のため、常設什器や遊具の貸出を積極的に実施。加えて、Web サイトや SNS を通じた情報発信を強化し、イベント・プログラムの周知と公園利用ルールの啓発にも努めた。

これらの多様な利用ニーズに応えるプログラムの企画・実行、受入支援により、うめきた公園の集客と賑わい創出、地域との連携強化に大きく貢献し、来園者にとって魅力的で多様な体験ができる場を提供できた。

■ 設置許可施設の運営にかかる事業

グラングリーン大阪開発事業者と連携し、公園全体の賑わい創出、来園者の利便性向上、そして多様な活動機会の提供を目指した。体験学習施設や便益施設を含む全施設において、利用者目線での運営を徹底し、まちの魅力向上に大きく貢献した。

特に体験学習施設「VS.」においては、新しい文化装置として多様な文化と先進的な技術を組み合わせた展示企画を実施。また、展示にあわせて公園やグラングリーン大阪の施設と連携したイベントを展開し、エリアの回遊促進やまちの一体的な賑わい創出に大きく寄与した。

2. 成果指標にかかる目標数値の達成状況

(1) 公園の利用者数

■ 目標数値

令和7年度は、昨年9月の先行開業からの経過日数も少ないことから、まずは継続的に利用者数を計測し、季節や天候による傾向等も加味しながら、令和8年度以降の目標数値を大阪市と協議のうえ、設定する。

■ 調査方法

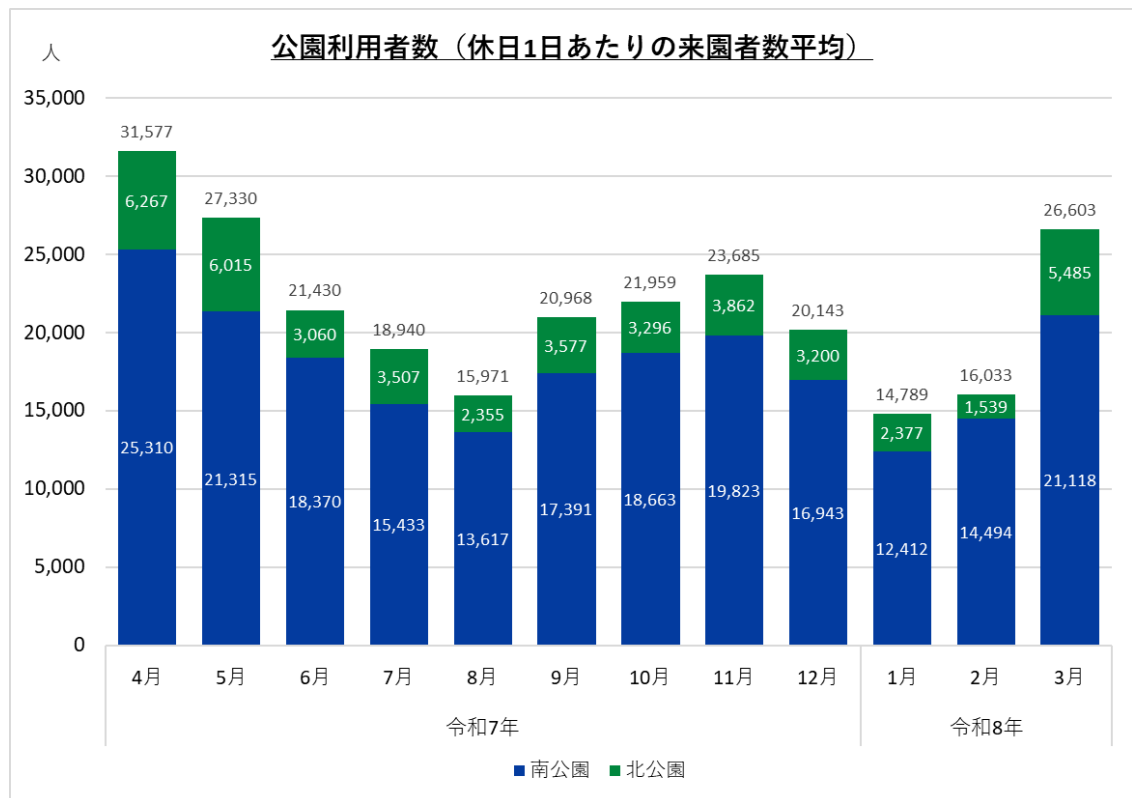
公園内の防犯カメラに付加したAIによる画像解析機能により、人流データを取得した。

■ 調査結果

上記の調査方法にて、令和7年度の公園の利用者数（公園の休日（平時）の利用者数〔人／12時間〕）を測定した結果、公園の休日（平時）の利用者数は平均21,619人／日（南公園17,907人、北公園3,712人）となった。

＜測定対象時間＞ 7時～19時の12時間／日

＜測定対象日＞ 大規模イベントを実施していた日や天候・イベント等で通常の公園利用に制限があった日を除外した土日祝日



(2) 公園の居心地の良さ

■ 目標数値

公園の居心地が良いと感じる人の割合 85%

■ 調査方法

公園利用者に対するアンケートを実施。ホームページや公式 SNS 等での呼びかけ、公園管理センタースタッフによる来園者への聞き取りの方法により、回答を収集した。

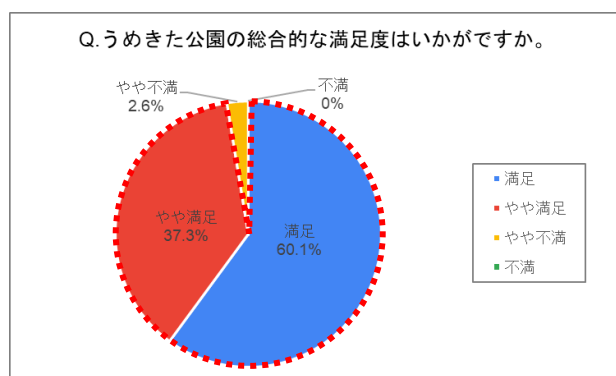
＜調査時期＞ 2025 年 12 月 11 日（木）～2026 年 1 月 12 日（月・祝）[33 日間]

＜回答数＞ 233 件

■ 調査結果

公園の居心地が良いと感じる人の割合 97.4%

うめきた公園の満足度について意見聴取したところ、満足度は 97.4%と高い結果となり、中でも「くつろいだり遊んだりできる芝生広場がある」「園内が綺麗に清掃されている」「季節の花や樹木などの自然がある」といった公園やみどりの魅力を評価する声を多くいただいた。



選択肢	割合
くつろいだり遊んだりできる芝生広場がある	19.4%
園内が綺麗に清掃されている	17.1%
季節の花や樹木などの自然がある	16.9%
ベンチや椅子・テーブルがあり、休憩場所が多い	12.8%
安全で安心して過ごせる環境がある	12.0%
公園内に様々な施設や飲食店がある	10.1%
イベントやプログラムが充実している	5.8%
貸出道具で遊べる	3.0%
スタッフの対応が良い	2.9%

(3) プログラムの充実度

■ 目標数値

公園でのプログラムが魅力的であると感じる人の割合 70%

■ 調査方法

①公園利用者に対するアンケート

＜調査時期＞ 2025 年 12 月 11 日（木）～2026 年 1 月 12 日（月・祝）[33 日間]

＜回答数＞ 233 件

②YOSETE UMEKITA・うめきた PUBLIC SCOOP 参加者へのアンケート

＜調査時期＞ プログラム実施の都度

＜回答数＞ 合計 198 件

■ 調査結果

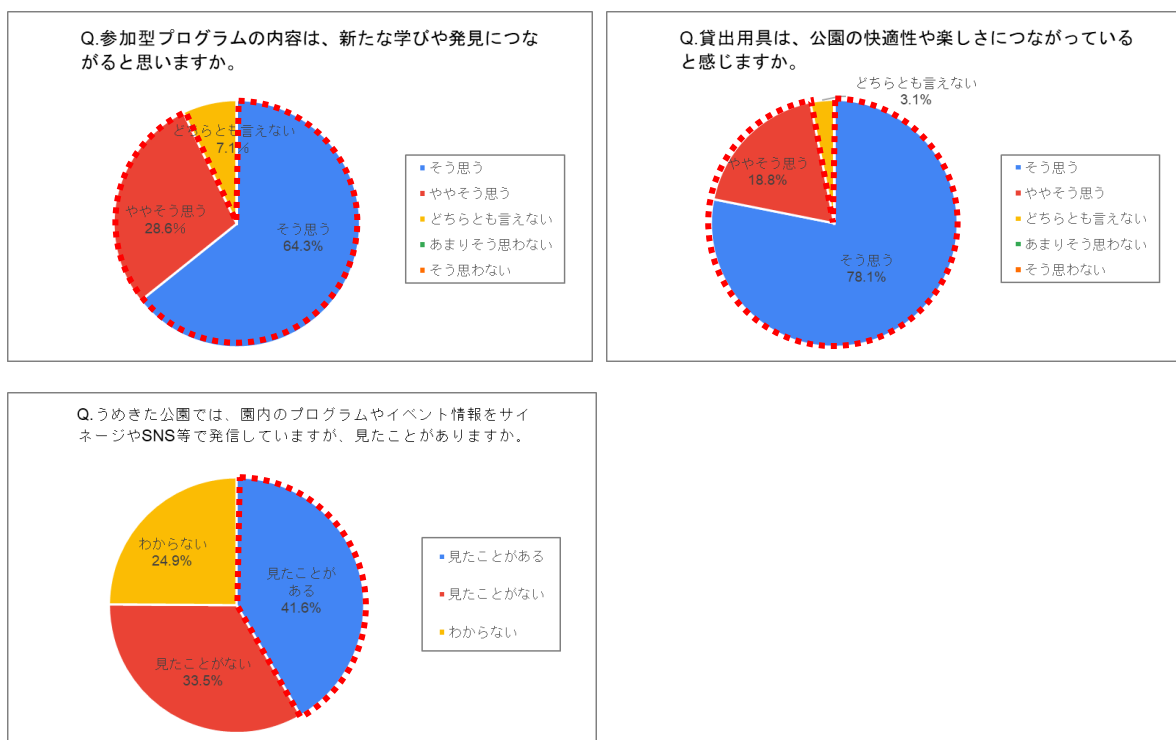
公園でのプログラムが魅力的であると感じる人の割合 82.3%

「プログラムの充実度」を測る視点として、「参加者・利用者の満足度」だけでなく「プログラムに関する情報発信が行き届いているか」も重要であると考え、アンケート①②にて以下4つの設問を調査し、それに対する評価の平均から「プログラムの充実度」を算出した。

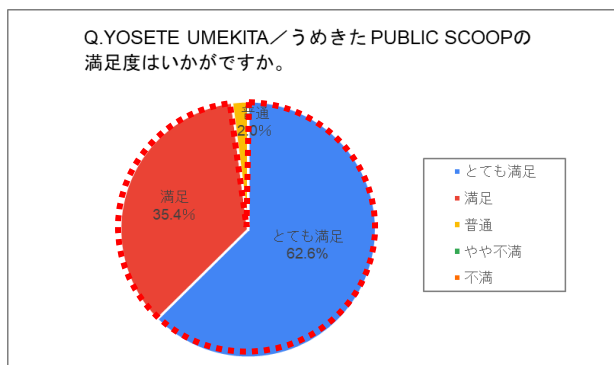
なお、本指標における「プログラム」とは、MMOが主体となって提供しているYOSETE UMEKITA／うめきた PUBLIC SCOOP／MUSIC BUSKER IN UMEKITA／用具貸出を対象とした。

結果として、4設問の平均は82.3%と目標数値を上回った。

①公園利用者に対する web アンケート結果



②YOSETE UMEKITA・うめきた PUBLIC SCOOP 参加者へのアンケート結果



(4) 活動等の場の提供

■ 目標数値

市民や企業、研究機関等による公園内での活動や実証実験等の実施件数 10 件以上

■ 調査結果

市民や企業、研究機関等による公園内での活動や実証実験等の実施件数 20 件

令和 7 年度は、令和 6 年 9 月のグラングリーン大阪 先行まちびらき、令和 7 年 3 月のグラングリーン大阪 南館等、隣接する施設の開業を経て迎えた最初の年度であり、企業・団体・研究機関等によるイベントや実証実験等の活動希望を多数いただいた。

MMO においても、開園初期であることから、公園利用者のニーズを探ることを目的に、積極的に多様な活動を受け入れ、その結果、目標件数を大きく上回ることができた。

	活動名	実施者	実施日
1	ミラージュ大阪	ティフォン株式会社	通年 ※2024 年度より継続
2	うめきた PUBLIC SCOOP	good mornings 株式会社、 うめきた MMO	通年 ※2024 年度より継続
3	RUN&WALK One to Step	株式会社グリーンシステム	通年 ※2024 年度より継続
4	うめきた温泉 蓮 ウェルネスプログラム	株式会社ラスイートコーポレーション	6 月 1 日（日）～随時実施
5	SUNTORY EARLY SUMMER PARK 2025	サントリー株式会社	5 月 29 日（木）～6 月 2 日 （月）
6	Candlelight コンサート@ うめきた公園	阪急電鉄株式会社	6 月 4 日（水）
7	PRADA MODE OSAKA	プラダジャパン株式会社	6 月 7 日（土）～15 日（日）
8	Osaka Art & Design 2025	Osaka Art & Design 2025 実行委員会	6 月 13 日（金）～7 月 10 日 （木）
9	Miu Miu Summer Read 2025	プラダジャパン株式会社	6 月 28 日（土）～29 日（日）
10	Superfly Cover Album 『Amazing』発売記念フ リーライブ	ユニバーサルミュージック合同会社	6 月 29 日（日）
11	ポケモン発見大作戦 in 大阪ステーションシティ& うめきた	ポケモン発見大作戦事務局	7 月 1 日（火）～10 月 31 日 （金）
12	樹幹流と空気採取による 環境 DNA 調査実証	株式会社 AdvanSentinel	7 月 1 日（火）～12 月 23 日 （火）

13	JIM BEAM SUMMER FES 2025	朝日放送テレビ株式会社、 サントリー株式会社	7月18日（金）～7月20日 （日）
14	IoT トングを活用したクリ ーンアップ活動	日本たばこ産業株式会社、 株式会社 mica、うめきた MMO	2025 年 8 月～常時活用
15	VIE and MUIC presents 夏の涼：雲海リトリート	JAM BASE（一般社団法人コ・クリエ ーションジェネレーター）、 一般社団法人関西イノベーションセン ター、VIE 株式会社	8月5日（火）～8月27日 （水）
16	環境配慮型バイオスティミ ュラント資材の活用及び 土壌微生物分析	株式会社 TSK、サンリッド・シード リングス株式会社	9月22日（月）～1月28日 （水）
17	YES GOOD MARKET	YES GOOD MARKET	10月11日（土）～10月12日 （日）
18	関西のいきもの大調査！い きものみらいラボ KANSAI	株式会社バイオーム	10月21日（火）～12月25日 （木）
19	BAYCREW'S FESTIVAL OSAKA 2025	株式会社バイクルーズ	10月25日（土）～10月26日 （日）
20	ニッパチ祭「サウンドハン ティング-自然の音を撮り、 聴く体験-」	株式会社ニッパチ製作所	12月6日（土）

3. 令和7年度 収支報告書

収支科目		主な内訳	指定管理 (目的事業)	指定管理 (自主事業)	指定管理 (合計)	[千円・税抜]	
						[参考] 魅力向上事業	[参考] 公園エリマネ
営業収益			188,510	37,864	226,374	266,388	54,766
事業収入	事業者負担金、許可収入、賃貸収入ほか		188,510	37,864	226,374	266,388	54,766
その他事業収入			—	—	—	—	—
営業費用			188,510	37,370	225,880	1,203,056	459,308
水光熱費	電気代、水道代		12,820	—	12,820	74,535	—
管理業務委託費（委託）	植栽管理、設備管理、清掃、運営管理		110,723	18,943	129,666	333,917	—
管理業務委託費（委託以外）	MMO人件費、MMO組織運営費		55,012	18,337	73,349	—	—
損害保険料	損害保険料		164	—	164	—	—
修繕費	日常修繕、計画修繕		3,418	—	3,418	—	—
賃借料・リース料	設置・占用許可料ほか		—	—	—	62,917	—
雑費・諸経費	イベント・プログラム関連費用		6,105	—	6,105	89,581	458,891
諸税	印紙税		268	89	357	81,753	418
減価償却費			—	—	—	560,353	—
営業利益			—	494	494	△936,667	△404,542
営業外収益	雑収入		—	—	—	—	—
営業外費用	利益分配金		—	—	—	—	—
特別利益			—	—	—	—	—
特別損失			—	—	—	—	—
税引前利益			—	494	494	—	—
法人税等	みなし法人税		—	—	—	—	—
税引後利益			—	—	494	—	—

2025年度の事業収支は、指定管理収入（営業外含む）226,374千円、費用225,880千円となり、収支差額494千円となった。

当初予算と比べると、イベント実施前・実施中の芝生保護対策の重点実施や効率的な組織運営に努めることで、芝生復旧作業費用や共通経費等の管理業務委託費が減少した。

4. 社会的責任、市の施策との整合性に関する取組み状況

(1) 働きやすい業務環境づくりに関する取組み

- ・ シフト制やフレックスタイム制等を活用しながら、時間外勤務の削減や有給休暇の取得促進に努める等、柔軟に働ける業務環境づくりを進めた。
- ・ 最新の管理技術や機器の導入等を行い、作業効率の向上を図った。

(2) 環境保護に関する取組み

- ・ 園内で収集したごみは、一般ごみと植栽ごみに分別し、植栽ごみはリサイクルを行った。また、一般ごみも適切に分別し、処理を行った。
- ・ 管理センターの照明、OA 機器、その他電気製品のこまめな電源オフの実施等、省エネ化に努めた。
- ・ うめきた公園を含むグラングリーン大阪では、「SITES 予備認証」「ABINC ADVANCE 認証」「優良緑地確保計画認定制度 (TSUNAG) トリプル・スター」を取得しており、園地管理においても生物多様性や環境に配慮し、植栽の状態に応じた灌水量の調整や薬剤散布は最小限とする等、各認証で求められる基準に準拠した維持管理を実施した。

(3) 個人情報保護に関する取組み

- ・ 個人情報保護法、大阪市個人情報保護条例およびその他関連法令を遵守し、MMO の情報管理規程および文書取扱規程に基づき、個人情報の管理を行った。
- ・ 指定管理業務従事者は、個人情報の取扱いに関する研修等に参加し、個人情報の保護に関する意識の向上、知識・スキルの向上に取り組んだ。
- ・ 個人情報を含む書類やデータは、鍵付きのキャビネット、またはセキュリティ対策の施された電子機器上にて保管・管理を行った。
- ・ 公園内の防犯カメラ映像の AI 画像解析機能導入においては、個人情報に配慮したセキュリティ設定や取組み内容の公表・現地掲示を行った。

(4) 人権配慮に関する取組み

- ・ 指定管理業務従事者は、人権研修等に参加し、人権への配慮に関する意識の向上、知識・スキルの向上に努めた。

(5) その他の活動実績

- ・ 大阪市行政手続条例上の行政庁として同条例の規定を遵守し、同条例に基づき作成した審査基準等を公園管理センターに備付けた。

5. 目的事業にかかる事業報告書

(1) 管理運営体制

公園の維持管理は、MMO の管理・統轄のもと、都市公園や芝生管理に豊富な実績を有する第三者委託先と連携し、高質な公園の管理運営に努めた。

■ 職員の配置状況

指定管理者（一般社団法人うめきた MMO）

職種	主な業務内容	区分	人数
事務局長	組織全体統括	常勤	1 名
総括責任者兼施設責任者	公園統括責任業務、施設責任業務	常勤	1 名
担当者	総合的企画業務、業務遂行管理等	常勤 非常勤	7 名

第三者委託先

職種	主な業務内容	区分	人数
公園管理センター所長 (園地管理技術者)	総括責任者の補佐・維持管理業務責任者 受付対応	常勤	1 名
公園管理センター副所長	総括責任者の補佐・維持管理業務責任者 受付対応	常勤	1 名
公園管理センター担当者	施設維持管理業務、自主事業の運営補助等	常勤 非常勤	8 名
芝生管理担当責任者 (園地管理技術者)	芝生管理作業指揮監督	非常勤	1 名
芝生管理担当者	芝生管理	常勤	1 名
電気主任技術者	電気主任技術者業務（南公園・北公園）	非常勤	各 1 名

(2) 研修等の実施状況

研修項目	実施日	内容
業務開始前		
A. 新任研修		
職員初期研修	7 月 1 日（火）・22 日（火）	指定管理者制度・法令・勤務ルール等に関する理解、施設や機器操作、現場等の基本知識の習得
初期接遇研修	7 月 1 日（火）・22 日（火）	公園特性に基づいた接遇研修

業務開始後		
B. 安全管理研修		
防災訓練	2 月 27 日（金）	大阪市内での大規模地震発生を想定した防災訓練（詳細は P.19）
救命救急・AED 講習	12 月 5 日（金）	専門機関による救命講習を受講
安全パトロール	5 月 1 日（木）・2 月 5 日（木）	園内の危険箇所現地踏査 安全衛生管理チェック
C. 全体研修		
接遇研修	1 月 20 日（火）・26 日（月） ※同内容を職員が 2 日にわかれて参加	接遇の重要性、基本的な接遇スキルの習得
個人情報保護研修		個人情報の重要性、配慮を持った取扱いの習得
人権研修		人権尊重の推進と人権侵害の未然防止を目的に実施
D. 専門研修		
植栽管理研修	2 月 13 日（金）	専門家（樹木医）招聘による現地指導 必要に応じて外部専門講習を受講
E. その他の研修		
生物多様性に配慮した公園管理研修	7 月 28 日（月）・10 月 15 日（水）	昆虫調査研修

（３）施設の維持管理状況

■ 植栽管理の実施状況

植栽管理においては、仕様書や年間植栽管理計画を基準としつつ、植栽の種類・状態や季節に応じた作業を行った。また、施工者・設計者を交えて園内を定期的に巡回し、開園後の植栽の生育状況の確認や設計意図の共有を実施。これにより、設計意図を踏まえた維持管理作業を行うことができ、植栽の健全な生育促進と良好な公園の景観形成につながった。

芝生広場は、多くの来園者に天然芝の緑豊かな空間を楽しんでいただけるよう、定期的な養生日を設ける、夏芝と冬芝のオーバーシーディングの実施時期を大規模イベント後に調整する等で、年間を通して美しい芝生を維持することができた。また、踏圧の集中する箇所への保護材敷設、イベント実施時の保護対策（養生資材敷設、設置物レイアウトの調整等）により、芝生保護と利活用の両立にも成功した。

その結果、来園者アンケートにおいても、公園の豊かなみどりや芝生広場の存在を評価する声が多く寄せられた。

令和7年度 うめきた公園植栽作業報告表（年間）

毎日、毎週実施 適宜実施 毎月、ポイント実施

エリア	管理項目		頻度	作業時期												備考
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
南公園	高木植栽A（ウメ）	剪定	計画	1回/年												4月の作業は前年度の予定作業を後ろ倒して実施したもの
			実績	3回	■		■		■							
	高木植栽B（ウメ以外）	剪定	計画	1回/2年												整姿剪定に加え、枯れ枝・支障枝剪定や害虫駆除目的の剪定を日常的に実施。
			実績	28回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	中低木植栽(中木)	剪定、刈込	計画	1回/年												
			実績	18回		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	中低木植栽(低木)	剪定、刈込	計画	1~3回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	135回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	地被類植栽	剪定、刈込	計画	1~3回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	50回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	芝生C-ティフトン 芝生広場	芝刈り	計画	25回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	冬期は芝生の生育状況を鑑み、作業実施なし。
			実績	19回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		施肥 ※液肥を含む	計画	8回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	12回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		エアレーション	計画	2回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	2回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		目土	計画	2回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	7回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		薬剤散布	計画	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	1回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		除草	計画	10回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	39回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		エッジ切	計画	5回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	14回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		灌水（自動灌水の補助）	計画	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	自動灌水設備は随時稼働
			実績	29回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		春期更新	計画	1回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	3回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		播種(ウィンターオーバーシード)	計画	1回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	5回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	芝生B-ティフトン	芝刈り	計画	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	日常養生に加え、5月・11月はシーディングに伴う長期養生
			実績	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		養生	計画	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
北公園	高木植栽B（ウメ以外）	剪定	計画	1回/2年												整姿剪定に加え、害虫駆除目的の剪定を日常的に実施。
			実績	14回												
	中低木植栽(中木)	剪定、刈込	計画	1回/年												整姿剪定に加え、害虫駆除目的の剪定を日常的に実施。
			実績	6回												
	中低木植栽(低木)	剪定、刈込	計画	1~3回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	整姿剪定に加え、害虫駆除目的の剪定を日常的に実施。
			実績	46回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	地被類植栽	剪定、刈込	計画	1~2回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	34回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	芝生B-ティフトン	芝刈り	計画	15回/年	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	20回	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		養生	計画	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			実績	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

	毎日、毎週実施		適宜実施		毎月、ポイント実施
--	---------	---	------	---	-----------

[illegible]

設備管理においては、仕様書や年間維持管理計画表に基づく日常点検・定期点検を実施し、安全かつ円滑な施設の管理を行った。

	毎日、毎週実施		適宜実施		毎月、ポイント実施
--	---------	---	------	---	-----------

エリア	種別	管理項目			頻度	作業時期												備考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
南公園	幹線・動力設備	共通	日常点検 (異常音等の確認)	計画 実績	毎月	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
		幹線・動力設備	定期点検	計画 実績	1回/年												■	
		ボールコンセント	日常点検 (異常音等の確認)	計画 実績	毎日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	受変電設備	共通	日常点検 (異常音等対応)	計画 実績	毎月	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		全般	定期点検	計画 実績	1回/年													■
		油入変圧器	酸価度試験	計画 実績	1回/3年													2027年8月までに実施
	中央監視装置	共通	日常点検 (異常音、機能の確認等)	計画 実績	毎日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		中央処理装置類	定期点検 (機能点検、情報保存)	計画 実績	毎月	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		伝送装置	定期点検 (構成、設定情報保存)	計画 実績	毎月	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		全般	定期点検	計画 実績	1回/年			■										
	電灯設備	庭園灯、アップライト等	日常点検 (汚れ、損傷の確認)	計画 実績	毎日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	弱電設備	弱電端子盤	日常点検 (異常音、内臓タイマーの確認)	計画 実績	毎日	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		弱電端子盤	定期点検	計画 実績	1回/年			■		■								
	放送設備	全般	日常点検 (設備利用時に動作確認)	計画 実績	適宜	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	飲用水受水槽	共通	日常点検 (異常音、機能の確認等)	計画 実績	毎月	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
		全般	定期点検	計画 実績	1回/年			■							■			

令和7年度 うめきた公園設備作業報告（年間）

毎日、毎週実施 適宜実施 毎月、ポイント実施

エリア	種別	管理項目		計画 実績	頻度	作業時期												備考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
南公園	加圧給水ポンプ ユニット	全般	定期点検	計画 実績	1回/年													
		共通	日常点検 (異常音、機能の確認等)	計画 実績	毎月													
	雨水供給用 水中ポンプ	汚水用水中ポンプ	定期点検 (発熱の異常有無、運転電流)	計画 実績	2回/年													
		全般	定期点検	計画 実績	1回/年													
		共通	日常点検 (土砂流入確認)	計画 実績	適宜													
	雨水再利用 貯留槽	雨水浄化システム	定期点検	計画 実績	1回/年													
		雨水貯蓄システム	定期点検	計画 実績	2回/年													
		共通	日常点検 (異常時対応)	計画 実績	毎日													
	水景設備	共通	濃度測定	計画 実績	毎日													水抜き時には実施なし
		ポンプ類、ろ過機、 殺藻装置、減菌装置	保守点検	計画 実績	2回/年													
		殺藻装置消耗品交換	銅イオンカートリッジ	計画 実績	1回/年													
		減菌装置	塩素剤補充	計画 実績	毎月													水抜き時には実施なし
		その他装置類	保守点検	計画 実績	2回/年													
		共通	日常点検 (異常音等の確認)	計画 実績	毎月													
北公園	幹線・ 動力設備	幹線・ 動力設備	定期点検	計画 実績	1回/年													
		ポールコンセント	日常点検 (異常音等の確認)	計画 実績	毎日													
		共通	日常点検 (異常音等対応)	計画 実績	毎月													
	受変電設備	全般	定期点検	計画 実績	1回/年													
		油入変圧器	酸価度試験	計画 実績	1回/3年													2027年8月までに実施
		共通	日常点検 (異常音等対応)	計画 実績	毎日													
	中央監視装置	無線通信テレメーター	定期点検	計画 実績	1回/年													
		自動制御盤（RCP盤）	定期点検	計画 実績	1回/年													
		庭園灯、アップライト等	日常点検 (汚れ、損傷の確認)	計画 実績	毎日													
	弱電設備	弱電端子盤	日常点検 (異常音、内臓タイマーの確認)	計画 実績	毎日													
		弱電端子盤	定期点検	計画 実績	1回/年													
	放送設備	全般	日常点検 (設備利用時に動作確認)	計画 実績	適宜													
	飲用水受水槽	共通	日常点検 (異常音、機能の確認等)	計画 実績	毎月													
		全般	定期点検	計画 実績	1回/年													
	加圧給水ポンプ ユニット	全般	定期点検	計画 実績	1回/年													

■ 施設の修繕・補修・更新実績

	発生日	場所	事案名	対応日	区分
1	1月11日	南公園サウスプラザ	イロハモミジ傾き	1月11日	その他

(4) 日常管理の実施状況

■ 清掃

専門スタッフによる定期的な清掃作業に加え、維持管理スタッフによる巡回時にもゴミ取りを実施することで、清潔な公園の維持に努めた。また、水盤は、日常清掃時の浮遊ごみの除去に加え、水盤底面の汚れの状態に応じて、水抜き清掃も行った。

令和7年度 うめきた公園設備作業報告（年間）

エリア	種別	管理項目	計画 実績	頻度	作業時期												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
清掃	日常清掃	園地（園路含む）	ゴミ拾い集め	計画 実績	毎日												
		水盤	ゴミ拾い集め、藻・土砂の除去	計画 実績	毎日												適宜水抜き、水盤面の清掃も実施
		サイン、照明	汚れのふき取り	計画 実績	適宜												

■ 巡回報告

安全・快適な環境を維持するために、スタッフによる園内の定期巡回を通じて、公園の利用状況の確認、施設や設備の点検、緑地の手入れ、不審物や危険箇所の発見と対応を行った。

巡回は1日2回を基本とし、イベント開催時や週末の多客時等においては、必要に応じて、臨時警備の配置やスタッフによる常駐・重点巡回を行った。また、来園者とのコミュニケーションは丁寧な言葉遣いを心掛けるとともに、周囲と衝突する可能性のある遊びや広範囲を占有する遊びに対しては、公園利用ルールと園内の混雑状況に応じて声掛けを行う等、来園者が多様に公園を使う・楽しめるよう柔軟なルール運用を行った。

夜間から早朝においては、警備員による巡回を4回実施し、安心・安全な公園となるよう努めた。

<巡回時の事案等発生件数 ※巡回時に現認した件数に限る>

事案名	件数	特記事項
ホームレス	0人	—
喫煙	163件	声掛け時には、園内の喫煙所を案内。喫煙の多い場所には仮設サインを追加設置。
無許可での撮影・販売等行為	263件	撮影行為が大半。

落書き	1 件	落書きは現場確認後、速やかに清掃を実施。
自転車走行	346 件	走行の多い箇所に仮設サインを設置し、巡回時以外での発生を抑止。
バイク走行	0 件	—
スケートボード走行	41 件	発生の多いステッププラザに AI カメラを設置し、自動検知および音声による警告を開始。
不正駐輪（声掛け・エフ貼付含む）	615 台	放置自転車には警告エフを貼付。長期放置による一時保管は 7 件発生。
その他（公園利用ルールの違反や立入禁止エリアへの侵入等）	157 件	立入禁止エリアへの侵入には、AI カメラによる自動検知および音声による警告を開始。

■ 平等利用の確保に関する取組み報告

すべての人にうめきた公園をご利用いただけるよう、公園でのイベント情報や芝生広場の開放状況、園内の植栽の様子等を公式 Web サイトや SNS（X、Instagram）で発信した。特に、長期間の芝生広場の養生やイベントに伴う施設の閉鎖等の情報は、事前に公式 Web サイトや SNS での発信・園内掲示を行い、すべての人に情報が行き渡るよう配慮した。

また、公園利用ルール・マナーを啓発する仮設サインは、先行開園後の管理運営で得た知見を活かし、より伝わりやすい情報や視認性の高いデザインに見直しを行い、誰もが常に快適に公園を利用できるように努めた。

■ 施設の運営時間（公園管理センター、トイレなど）

施設名		開館状況	利用時間
公園管理センター		12 月 29 日～1 月 3 日閉館	9 時～17 時 30 分
北公園	トイレ	年中無休	6 時～24 時 30 分
南公園	ゲートランタン	年中無休	6 時～24 時 30 分
	喫煙所	年中無休	6 時～24 時 30 分
	トイレ	年中無休	6 時～24 時 30 分
	ひらめきの道	年中無休	原則、常時開放

■ 行為許可の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	16	21	18	10	10	12	
使用料(円)	88,750	111,500	283,670	141,310	130,440	130,440	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
件数(件)	18	10	11	4	4	10	144
使用料(円)	273,060	95,440	55,400	43,480	34,710	109,690	1,497,890

■ 問合せ等の対応状況

来園者からの問合せ等には迅速な対応を心掛けるとともに、いただいた要望等は、適宜現場運営に反映し、公園の維持管理業務の改善につなげた。

特に、園内や周辺道路でのスケートボード走行に対する意見・苦情が多く、昨年度から巡回時の声掛けや所轄警察と連携した対応を継続してきたが、特に発生の多いステッププラザにはAIカメラを設置し、行動検知および自動音声による警告を開始している。

<問合せ等の対応件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
意見・問合せ	3	0	2	2	4	3	2	1	1	0	0	1	19
苦情	1	3	0	0	2	2	2	3	0	0	1	0	14
要望	3	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8
合計	7	6	3	2	6	5	5	4	1	0	1	1	41

(5) 安全管理・危機管理に関する対応

■ 維持管理業務における作業時の安全対策

作業時の安全管理対策基準に基づき、作業時の第三者災害、作業スタッフのけが、事故の発生が無いよう安全対策を実施した。

■ 緊急時の対応

災害時対応を適切かつ円滑に行うため、大阪市との通信訓練への参加や、「危機管理・災害対応マニュアル」に基づく防災訓練を実施した。

また、公園だけでなく、まち全体として円滑な災害対応にあたることができるよう、隣地であるグラングリーン大阪南館・北館管理者と発災時の情報連携や協力体制の構築を進めた。

<訓練の実施状況>

大阪市防災情報システムを活用した情報発信訓練	
実施日	11月5日（水）
内容	災害時を想定し、大阪市防災情報システムを活用した情報伝達訓練に参加。
大阪市震災総合訓練	
実施日	1月16日（金）
内容	大阪市の震災総合訓練に参加。 無線機および市情報システムにて、被害情報の報告方法を確認した。
うめきた公園 防災訓練	
実施日	2月27日（金）
内容	平日の午後に震度6弱の地震が発生した場合を想定し、主に初期行動としての関係者の安否確認・現場参集、園内巡視による状況把握・緊急対応を「危機管理・災害対応マニュアル」に基づき確認。また、救護所の準備や水盤の水抜きの実演訓練を行った。

6. 自主事業にかかる事業報告

(1) 指定管理者が実施するイベント・プログラムの実施状況

■ 自主イベント

公園の四季の魅力を来園者により感じていただけるよう、季節ごとのイベント（シーズナルイベント）や公園内だけでなくまち全体で連携した大規模イベントを3件実施した。

MIDORI FES. 2025	
実施日	5月3日（土）～5日（月祝）
場所	グラングリーン大阪全域（うめきた公園、駅北1号線含む）
主催	一般社団法人うめきた MMO
内容・ 実施所感等	「キミが楽しむと、世界がよくなる。～公園から「世界にいいこと」に取り組む文化祭～」をコンセプトに、音楽ライブやトークセッション、各種ワークショップ、ウェルネスプログラム、飲食ブース出店等を複合的に展開。グラングリーン大阪の街一体での賑わいづくり、パートナー企業を中心としたサステナブルな取組発信にも繋がった。 また、オープニングセレモニーには大阪府知事・大阪市長にも登壇いただき、多数のメディアにも紹介いただいた。
実施時の 様子	 
GRAND GREEN HOLIDAY (UMEKITA WINTER)	
実施日	11月6日（木）～12月25日（木）
場所	うめきた公園サウスポーク・ノースパーク
主催	一般社団法人うめきた MMO

内容・ 実施所感等	冬の集客やエリアの回遊促進を図り、まち全体の活性化につなげることを目的に、クリスマスをテーマにしたイベントを実施。 サウスパークでは、芝生広場に巨大な透明ドームテントを設置し、冬の公園における滞留空間を創出。水盤には篝火を模したモニュメントを設置し、公園の空間を活かした演出を行った。加えて、グランフロント大阪・グラングリーン大阪ショップ&レストランとの連携施策として、ミッフィーとタイアップしたまち全体の回遊施策を実施。また、街路樹イルミネーションにあわせて、公園入口の地被類植栽帯にイルミネーションを施し、来園を促すしかけを行った。	
実施時の様子	 	
【参考】 UMEKITA Blossom Parlor		
実施日	3月28日（金）～4月6日（日）	
場所	ノースパーク 芝生エリア	
主催	グラングリーン大阪開発事業者	
共催	一般社団法人うめきた MMO	
内容・ 実施所感等	テイクアウトフードやドリンクを用意し、公園の桜とビルと公園から見える夕日が共演する幻想的な風景を楽しんでいただけるイベントを実施。都市の中の公園という特性を活かした、新たなスタイルのお花見体験を提供した。 ※グラングリーン大阪 南館オープニングイベントの一環として実施したため、自主事業としての実施ではないものの、参考として報告	
実施時の様子	 	

■ YOSETE UMEKITA

音楽・ダンス・演劇・落語ほか伝統芸能などジャンルを横断したパフォーマンスのショーケースシリーズ。時に来園者を巻き込みながら展開される本格的でオリジナリティ豊かなパフ

オーマンスにより、様々な来園者に文化体験や新しい発見・心に残る体験を提供。令和7年度は計7回実施した。

テーマ	開催日	場所	来場者数
vol.7「青芝の宴」	6月28日（土）	ノースパーク	約120人
vol.8「夏夜の輝き」	8月29日（金）	サウスパーク 水盤	約250人
vol.9「新涼の宵」	9月13日（土）	サウスパーク 芝生広場	約220人
vol.10「深秋の饗宴」	11月16日（日）	ノースパーク	約100人
vol.11「落葉の調べ」	11月24日（月祝）	ノースパーク	約220人
vol.12「夜半の冬」	12月19日（金）	サウスパーク (芝生広場ドームテント内)	約120人
vol.13「春暖の歓」	3月21日（土）	サウスパーク 水盤	約500人



■ うめきた PUBLIC SCOOP

自分の「好き」や、ここで見つける「好き」をそれぞれのスコープ（手）で掘り下げ、体験を通じてさまざまなコト・ものを発見していくことで、この場所ならではのコミュニティを育てていく企画。

公園内外問わずまちの様々な場所の活用や多様なプレイヤーとの連携を行い、週1回以上のペースでプログラムを提供し、令和7年度は55回の実施回数となった。継続的・高頻度な実施によってリピーター参加者が増え、参加者発意によるプログラムも生まれた。

<実施プログラムの例>

	イベント名	内容
1	まちづくり学校	まちづくりに携わるゲストを招いたトークイベント。昨年度から継続する人気企画で、令和7年度は7回実施。
2	うめきた読書倶楽部	文化的な視点で日常を考える読書会シリーズ。毎回異なるテーマの書籍を題材とし、著者による解説等を実施。令和7年度に7回実施。

3	THE MOLLKY PLAY GROUND	「モルック」を楽しみながら、参加者同士の交流を深めるイベント。本企画参加者の発意ではじまり、令和7年度中に11回開催。
4	「ライフスタイル企画」シリーズ	「新しく生活に取り入れたら面白そうなこと」にチャレンジしてみるきっかけを作ることで、ライフスタイルを豊かにしてもらうことを目的とした企画。刺繍・スパイス調合・草木染め等、幅広いテーマのワークショップを実施。
5	うめきた公園のススキで遊ぼう ～刈り取り体験&ミニ工作～	公園に植栽されているススキを刈り取り、簡単な工作を行うワークショップ。季節に応じて、公園の植栽の魅力に触れられる機会を提供。



■ MUSIC BUSKER IN UMEKITA（令和7年5月～実施）

うめきたを「音楽があふれるまち」にすることで、公園の継続的な賑わいを創出するとともに、全国・世界へはばたくアーティストを応援することを目的とした、株式会社 FM802、一般社団法人グランフロント大阪 TMO との共催企画。オーディションを通過しライセンスを受けたミュージシャンが、公園をはじめとしたうめきた地区で演奏を披露。令和7年度は67回の演奏が提供され、来園者が憩う BGM としても楽しまれた。

また、3月には「MUSIC BUSKER FESTIVAL IN UMEKITA」として地区内で同時多発的に演奏を提供し、うめきた地区の回遊促進にもつながった。



（2）利用促進・プロモーションの実施状況

■ 用具貸出

公園の快適性や滞在時間の向上を促し、公園の賑わい創出や多様な利活用を促進するため、園内で使用できる可動式什器の設置やアクティビティグッズの貸出を行った。

貸出用具は、①来園者が座り、飲食や休憩・作業等ができるチェア・テーブル、②来園者が自分の居場所をつくるために利用できる用具、③来園者が体を動かしたりゲームを楽しんだ

り、アクティブに活動できる用具を中心に用意した。また、季節に応じて貸出用具を随時追加し、来園者のニーズに合わせた用具提供も行った。

<貸出用具の例>

	品名
常設什器（無料）	チェア・テーブル、ベンチ
遊具（無料）	レジャーシート、キャンプチェア、ボーリングセット、虫めがね、けん玉、日傘、ブランケット
遊具（有料）	モルック、遊べるレジャーシート、バドミントン、スパイクボール、LED ランタン

※一部用具は自由利用のため、貸出回数は不明

■ 情報案内

すべての人にうめきた公園をご利用いただけるよう、公園でのイベント情報や芝生広場の開放状況、園内の植栽の様子等を公式 Web サイトや SNS（X、Instagram）で発信した。

（P.17「平等利用の確保に関する取組み報告」参照）。

また、園内巡回時や維持管理作業時には、来園者とのコミュニケーションを大切にし、周辺の施設案内や園内の植栽の紹介、グラングリーン大阪や周辺施設で開催しているイベント案内、公園利用ルールに則った声掛け等も実施した。

（３） 多様な主体との連携および調整に関する業務の実施状況

■ 共創イベント

多様な主体による公園の利活用を促進するとともに、来園者にとって魅力的なイベントや梅田・大阪の国際競争力強化に資する注目度の高いイベントを提供するため、MMO が支援し、外部企業や団体等のコンテンツを誘致した。令和 7 年度は共創イベントとして以下 13 件のイベントを実施した。

	イベント名	開催日	主催
1	SUNTORY EARLY SUMMER PARK 2025	5 月 29 日（木）～6 月 2 日（月）	サントリー株式会社
2	Candlelight コンサート@うめきた公園	6 月 4 日（水）	阪急電鉄株式会社
3	PRADA MODE OSAKA	6 月 7 日（土）～15 日（日）	プラダジャパン株式会社
4	Osaka Art & Design 2025	6 月 13 日（金）～7 月 10 日（木）	Osaka Art & Design 2025 実行委員会

5	Superfly Cover Album 『Amazing』発売記念 フリーライブ	6月29日(日)	ユニバーサルミュージック 合同会社
6	ポケモン発見大作戦 in 大阪ステーションシティ &うめきた	7月1日(火)～10月31日(金)	ポケモン発見大作戦事務局
7	JIM BEAM SUMMER FES 2025	7月18日(金)～7月20日(日)	朝日放送テレビ株式会社
8	雲海リトリート	8月5日(火)～27日(水)	JAM BASE、MUIC Kansai、 VIE 株式会社
9	大阪クラシック 2025 ウェルカム公演	9月10日(水)	大阪市、 大阪クラシック実行委員会
10	YES GOOD MARKET	10月11日(土)～12日(日)	YES GOOD MARKET
11	BAYCREW'S FESTIVAL OSAKA 2025	10月25日(土)～26日(日)	株式会社ベイクルーズ
12	GRAND GREEN OSAKA × Mrs. GREEN APPLE Wonder Museum	3月2日(月)～31日(火)	グラングリーン大阪 ショップ&レストラン
13	おさんぽマルシェ	9月14日(日)・28日(日)・11月 23日(日)・3月8日(日)・22日(日)	グラングリーン大阪 ショップ&レストラン



■ MIDORI CLUB

公園で来園者がやりたいことを実現できるよう「チャレンジの機会」を提供し、公園の賑わいを強化するとともに、来園者の愛着・シビックプライド醸成を目的とし、MMOが市民活動の企画検討・推進を支援するもの。「うめきた PUBLIC SCOOP」から生まれた市民発意の企画6件をテスト実施し、MIDORI CLUBの立ち上げに向けた体制・仕組み構築を行った。

■ ウェルネスプログラム（令和7年6月～実施）

来園者に日常的な運動機会を提供し、心身への健康寄与をもたらすことに加え、曜日や時間帯を問わず、都心ならではの公園の使いこなしを促進するため、ヨガやランニング等のプログラム実施希望者の受入を行った。主にグラングリーン大阪や近隣施設によるプログラム提供

が行われ、令和 7 年度は 2 団体による 104 回のプログラムを実施し、公園ならではのアクティビティを日常的に提供することができた。

■ モビリティショップ

来園者のニーズを踏まえた飲食等の機能をキッチンカーや屋台で提供することで、来園・滞在のきっかけとし、公園の賑わいを強化するもの。

令和 7 年度は実施がなかったものの、園内やロートハートスクエアうめきたでのイベントにおけるキッチンカー誘致を行った。

■ ミラージュ大阪

国際競争力強化や来園者の満足度向上を企図し、現実世界と仮想空間をシームレスに融合させる最新の空間コンピューティング技術により、公園が様々な世界に変化していく魔法のような体験を楽しんでいただくコンテンツ。新時代の空間エンターテインメント体験として、公園の新たな楽しみ方を提供した。(主催：ティフォン株式会社、協力：一般社団法人うめきた MMO)

(4) 設置許可施設における魅力向上事業との連携状況

■ 公園施設プログラム

日常的な公園利用・賑わい形成を促進するため、飲食、スポーツ、教育など、公園施設テナントによる一般園地でのプログラム・サービス展開を MMO が支援した。

令和 7 年度は以下 5 件のプログラムを実施し、公園施設の活動のにじみ出しを促し、公園全体として一体的な賑わい創出につなげた。

イベント名	開催日	主催
Run&Walk One to Step ランニングプログラム	4 月 3 日 (木) ~ 随時実施	株式会社グリーンシステム (Run & Walk One to Step)
Miu Miu Summer Reads 2025	6 月 28 日 (土) ~ 29 日 (日)	プラダジャパン株式会社
ニッパチ祭「サウンドハンティング- 自然の音を撮り、聴く体験-」	12 月 6 日 (土)	株式会社ニッパチ製作所
グラングリーン大阪のお正月	1 月 2 日 (金) ~3 日 (土)	グラングリーン大阪ショップ&レストラン
X-girl meets DAZN International Womens Day	3 月 7 日 (土)	株式会社ビーズインターナショナル

(5) うめきた 2 期エリアマネジメント事業との連携状況

■ 一体的な情報発信

すべての人にうめきた公園をご利用いただけるよう、公園でのイベント情報や芝生広場の開放状況、園内の植栽の様子等を公式 Web サイトや SNS（X、Instagram）で発信した。

（P.17「平等利用の確保に関する取組み報告」参照）。

また、園内巡回時や維持管理作業時には、来園者とのコミュニケーションを大切にし、周辺の施設案内や園内の植栽の紹介、グラングリーン大阪や周辺施設で開催しているイベント案内、公園利用ルールに則った声掛け等も実施した。

■ まち全体の賑わい形成を目的とした大規模イベントへの協力

グラングリーン大阪やうめきた地区のまち全体での大規模イベントを複数実施し、一体的・面的な賑わい創出や地区の回遊促進を実現した。

UMEKITA WINTER	
実施日	2025 年 11 月 6 日（木）～2026 年 2 月 28 日（土）
場所	グラングリーン大阪・グランフロント大阪
主催	一般社団法人グランフロント大阪 TMO、一般社団法人うめきた MMO
内容・ 実施所感等	来街者にうめきた全体でクリスマスシーズンを楽しんでもらえるよう、グランフロント大阪とグラングリーン大阪にて共通の冬季施策「UMEKITA WINTER」を実施。街路樹イルミネーションや「Grand Santa Parade in UMEKITA」、miffy とコラボレーションしたインスタレーション設置・スタンプラリーにより、まち全体の回遊促進に取り組んだ。 公園では、入口付近の園路にもイルミネーションを施し、街路と園路を一体的に装飾することで、華やかで上質な冬の景観形成を行った。
実施時の 様子	  

7. 設置許可施設の運営にかかる事業報告

(1) 設置許可施設の運営状況

うめきた公園においては、公園全体の賑わい創出、来園者の利便性の向上を目的に、グラングリーン大阪開発事業者により、健康増進や教育、芸術等、施設ごとに多様な体験ができる体験学習施設と、来園者の利便性向上に資する飲食等のサービスを提供する便益施設の設置・運営が行われている。

各施設は運営計画に基づき運営した結果、事業種別の展示施設では約 330,000 人、飲食施設では約 220,000 人、体験施設では約 28,000 組の利用がなされた。

<施設一覧>

施設名称	設置許可施設名	事業種別	主な事業内容	営業・稼働計画
PLAT UMEKITA	体験学習施設 1 (コンシェルジュキューブ)	その他	多目的に利用できるスペース やインフォメーション、物販 スペース等	10～20 時 (原則、年中無休)
Fit cube	体験学習施設 2 (スポーツキューブ)	体験	ランニングステーション、 物販スペース、軽飲食スペース等	6 時 30 分～22 時 (原則、年中無休)
MIDORI LOUNGE	体験学習施設 3 (みんなのキューブ)	飲食	フリースペース（市民活動の 拠点、プログラム開催、公園 利用促進等）	9～20 時
boo boo boo			カフェ (フリースペースや公園利用促進 のサービスとして軽飲食を提供)	11～20 時 (原則、年中無休)
MULTI SPACE			多目的に利用できるスペース (多様な企業・団体等が、公園 で様々な活動をする場の提供)	9～20 時
ボーネルンド PLAY CUBE	体験学習施設 4 (エデュテインメントキューブ)	体験	スクール・カフェ経営	平日 9～19 時、 土日祝 10～19 時
VS.	体験学習施設 5 (ネクストイノベーション ミュージアム)	展示	新しい文化装置として様々な 文化と先進的な技術等を組合 せ、新しい体験を提供 (展示室、カフェ・物販の運営)	展示室 10～19 時 (通常営業時)、 カフェ 9 時～23 時
THE JACKSON GARDEN	便益施設 1 (パーティーレストラン)	飲食	飲食・軽飲食 (貸切営業を柔軟に対応する)	レストラン 11 時 30 分～18 時、 パーティー・結婚式 要予約 (原則、月曜定休)
TALKS cafe & bar/ smørrebrød KITCHEN※	便益施設 2 (大屋根カフェ・レストラン棟)	飲食	カフェ・レストラン (店内飲食を中心に、テラス 利用やテイクアウト商品を提供)	9～22 時 (原則、年中無休)
ロートハート スクエアうめきた	大屋根イベントスペース	その他	貸イベントスペース	原則 9～22 時 (イベントにより変動)

公園管理センター	管理施設 (管理棟 管理事務所)	その他	公園の管理運営	9～17時30分 (年末年始休業)
SIK eatery	管理施設 (管理棟 カフェ)	飲食	カフェ・レストラン (小皿中華×ナチュラルワイン が楽しめるカフェ&レストラン)	平日 11～22 時、 土日祝 8～22 時 (原則、年中無休)

※2026/2/19 以降、業態変更による店名変更（「TALKS cafe & bar」→「smørrebrød KITCHEN」）

（２） 各設置許可施設の運営実績概要

■ PLAT UMEKITA：体験学習施設 1（コンシェルジュキューブ）

PLAT UMEKITA は、多目的に利用できるスペースを持ち、"Ethical-tainment（エシカルテインメント）※"を掲げたワークショップ・展示・講演等、自主・外部の様々な企画を提供した。ロートハートスクエアうめきたと一体的に利用するイベントもあり、公園としての一体的な賑わい創出にもつながった。

インフォメーションでは、まちのマップやイベントのパンフレット等の配布、来園者への情報案内、一部遊具の貸出対応等のまち全体のインフォメーション機能も担い、公園やまちの魅力発信を行った。また、拾得物や迷子等をはじめとする来園者からの問合せにも、公園管理センターと連携して対応することで、公園のサービスの質の向上にも寄与した。

※Ethical と Entertainment を融合した造語

<主な実施企画>

イベント名	開催日	主催
2025 MADE IN SHANGHAI	5 月 21 日（水）～25 日（日）	上海穎思贸易有限公司 (SUMMUS)
PRADA MODE OSAKA	6 月 7 日（土）～15 日（日）	プラダジャパン株式会社
#SUMADORI Me	8 月 8 日（金）～20 日（水）	スマドリ株式会社
“まるっと” つなごう！ オランダサーキュラー・デー	9 月 23 日（火・祝）	駐日オランダ王国大使館
みらいのけしき展 inOSAKA	12 月 18 日（木）～25 日（木）	ヤンマーホールディングス株式会社

■ Fit cube：体験学習施設 2（スポーツキューブ）

「みどりと健康の融合拠点」をコンセプトに、施設 1 階ではスポーツステーション「RUN & WALK One to Step」を、2 階ではウェルネス意識の高い方をターゲットとした、テイクアウト商品を提供するカフェ「Chillpple」とウェルネスをテーマとしたイベント等での利用が可能な多目的スペース「studioX」を展開した。

スポーツステーションは、ランニングを通して、公園を中心とした周辺エリアの街並みや自然を楽しんでいただくための拠点として、MMO の自主事業「公園施設プログラム」として

施設内外を一体的に活用したイベントを提供し、公園の多様なアクティビティ創出につながった。カフェでは、施設のテラスや公園の園地で気軽に楽しむことができるコーヒー・お茶等のドリンクや軽食を提供し、来園者の利便性・快適性の向上に寄与した。多目的スペースでは、アパレル企業等の利用を受け入れ、公園のみどりを望むスタジオにて、心身の健康増進に寄与するイベントが開催された。

■ MIDORI LOUNGE・boo boo boo・MULTI SPACE：体験学習施設 3（みんなのキューブ）

3つの施設・機能を併設し、1階の「MIDORI LOUNGE」は、日常時は飲食・仕事・打合せ等に利用できるフリースペースとして運用した。また、市民活動やプログラムの活動拠点として、「うめきた PUBLIC SCOOP」をはじめとする様々な企画の会場として利用した。

カフェ「boo boo boo」では、「MIDORI LOUNGE」や公園を利用する方がランチや休憩等に日常的に楽しめる軽飲食や食事を提供し、公園の利用促進に繋がった。

2階の「MULTI SPACE」は、中核機能施設「JAM BASE」の一つとして、「JAM BASE」利用者をはじめとする多様な企業・団体等が、公園で様々な活動をするための場の提供を行い、令和7年度は企業の研修・セミナー・ワークショップ・展示等の約100件の多様な活動に利用された。

■ ボーネルンド PLAY CUBE：体験学習施設 4（エデュテインメントキューブ）

多様化する子どもの学びに対するニーズに応え、「子どもの様々な『自分の好き』を称賛し応援できる居場所づくり」をコンセプトとしたスクール展開、セミナー、親子カフェ等を展開。令和7年春以降、スクール事業を本格稼働し、様々な企業等との連携や公園の環境を活かしたプログラムやサービスを実施した。

■ VS.：体験学習施設 5（ネクストイノベーションミュージアム）

新しい文化装置として様々な文化と先進的な技術等を組合せ、新しい体験を提供する展示等の企画を実施。自主・外部ともに話題性の高い多様な展示を多数誘致した。また、

「sakamotocommon OSAKA」では、公園での映画上映会やグラングリーン大阪の施設BGM連動を実施。「Mrs. GREEN APPLE Wonder Museum」では、公園やグラングリーン大阪内の飲食店舗とのコラボメニュー提供、街全体をジャックする広告展開・モニュメント設置等を実施。公園と施設が一体となったグラングリーン大阪の特長を活かし、エリアを挙げた取組みとなり、来街者の回遊促進・一体的な賑わい創出に大きく寄与した。

<令和7年度の展示・企画>

イベント名	開催日	主催
安藤忠雄展 青春	3月20日（木・祝） ～7月21日（月・祝）	VS.共同事業体（共催：安藤忠雄建築展実行委員会）
台湾光譜 TaiwanSpectrum	8月1日（金）～20日（水）	台湾文化部・台北駐日経済文化代表処台湾文化センター

Sakamotocommon OSAKA	8月30日(土) ～9月27日(土)	株式会社キャブ、 VS.共同事業体
RALPH LAUREN イベント	10月3日(金) ～10月5日(日)	レキップトロワ
Fate/Grand Order Servant Art Chronicle -最終再臨展-	10月25日(土) ～11月9日(日)	株式会社ソニー・ミュージッ クソリューションズ
小田切ヒロ POPUP ENRGETIC MONSTER OSAKA	11月13日(木) ～11月16日(日)	Nous 株式会社
Creatism Junction-	11月29日(土)	クリエイティブユニバース
International Students Creative Award 2025 (通称 ISCA)	12月5日(金)～7日(日)	ナレッジキャピタル
Snow Man 1st POP-UP	12月20日(土) ～1月18日(日)	MENT RECORDING
Marihiko Hara Trio Concert	1月24日(土)	VS.共同事業体
Mrs. GREEN APPLE Wonder Museum	3月2日(日)～31日(月)	Mrs. GREEN APPLE Wonder Museum 実行委員会

■ THE JACKSON GARDEN : 便益施設 1 (パーティーレストラン)

自然豊かな公園の環境を活かし、「ゆとり」や「くつろぎ」を感じられるサービス提供・施設運営を実施し、通常営業時には、店内やテラス席で公園の景観に囲まれながらのアフタヌーンティー営業が人気であり、ゆっくりと公園での滞在を楽しみたい方を中心に利用された。また、パーティー・結婚式や企業の懇親会等のビジネス利用といった貸切利用にも対応し、公園のみどりの中でのユニークな体験の提供、来園者の利便性の向上につながった。

■ TALKS cafe & bar/smørrebrød KITCHEN : 便益施設 2 (大屋根カフェ・レストラン棟)

「Farm to table」をコンセプトに、フレッシュでオーガニックな食材を使った季節のメニューやテイクアウト商品、ベジタリアン向け料理等、すべての方が集い楽しむことができ、公園のみどりとも親和性の高いメニュー提供・施設運営を行った。

※2026年2月19日以降、業態変更により、店名変更。(「TALKS cafe & bar」→「smørrebrød KITCHEN」)

■ ロートハートスクエアうめきた : 大屋根イベントスペース

公園の象徴的な大屋根がかかったフレキシブルに利用できる全天候型の屋外イベント広場として、令和7年度は自主・外部あわせて計38件のイベントで利用された。

まちのブランディングにも寄与する音楽ライブ・マルシェ・展示等の多種多様なイベントや芝生広場を一体的に活用した大規模なイベントを受け入れ、グラングリーン大阪のユニークベニューとして注目を集めた。また、イベントを実施していない日常時には広場として開放し、来園者の憩いのスペースとしても機能した。

<主な利用実績>

イベント名	開催日	主催
エアレース X 2025 積水ハウス 大阪うめきたデジタルレース	9 月 6 日 (土)	AIR RACE X / AIR RACE X 2025 大阪大会実行委員会
3x3.EXE PREMIER 2025 PLAYOFFS	9 月 27 日 (土) ~28 日 (日)	クロススポーツマーケティング株式会社
Good Hawaii	11 月 1 日 (土)	Good Hawaii 実行委員会
大阪 NOH フェスタ 「能楽公演と能楽体験」	11 月 24 日 (月・祝)	公益財団法人山本能楽堂、 独立行政法人日本芸術文化振 興会、文化庁
もしも FES 2026 大阪	3 月 14 日 (土) ~15 日 (日)	こくみん共済 coop、 朝日放送テレビ

■ 公園管理センター・SIK eatery : 管理施設

施設 2 階の公園管理センターでは、公園の利用案内、一般園地の利活用調整・対応、園内の安全対応、拾得物・残置物・迷子対応等、公園の管理運営に係る業務推進を実施した。

施設 1 階のカフェでは、時間帯ごとにカフェ、レストラン、バーと、多様な来園者のニーズに対応した飲食提供を行った。テラス席と店内の一部座席はペット同伴可能とし、ペットとともに来園した方々の人気を集め、公園の魅力向上・満足度向上につながるサービス提供を行った。

8. 次年度へ向けた課題及び目標

(1) 目的事業

誰もが快適に公園を利用していただけるよう、園内の施設やイベント情報等のわかりやすい案内や情報発信の強化が課題となっており、園内の動線改善や案内表示・情報発信内容の見直しにより、来園者のさらなる利便性向上を図る。

また、スケボー、喫煙、ゴミのポイ捨て等の望ましくない公園利用が増えており、公園利用ルールの啓発強化や、自ずとルール&マナーが守られるような環境設計を行い、安全・安心な公園環境を維持する重要性が高まっている。

(2) 自主事業

「MIDORI CLUB」については、令和7年度に「うめきた PUBLIC SCOOP」を通じてトライアル企画を実施することで、市民活動のニーズ把握や実施希望者の受け入れを行ってきた。この繋がりを活かし、令和8年度には、クラブ設立のための運営ルールを確立し、登録クラブの増加や継続的な活動支援に注力していく。

(3) 設置許可施設の運営にかかる事業

引き続き、設置許可施設における魅力向上事業の実施主体であるグラングリーン大阪開発事業者と連携し、公園施設で行っているアクティビティやサービスの公園へのにじみ出しを支援し、公園の日常利用促進・賑わい形成に取り組んでいく。